

2024 ~ 2025 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

- 会長 前田日出夫
- 幹事 福井 学



No.1870 令和 06 年 08 月 07 日 第 05 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

熊本東南ロータリークラブの歌

『Joyful And Good!』

(ソングリーダー 古田 哲朗)



■今月の誕生祝い

(親睦スマイル 松田会員)



■会長の時間

(会長 前田 日出夫)

あの頃の夏も今日と同じように暑かった。

35年前、熊本の夜の街はバブルがはじけたとはいえまだ活気があった。ちょうど独立した頃で、なぜか、今までライバル会社だった社長と週に3~4回、亡くなられるまでの12~13年間、夕方食事をしてスナックへよく行っていました。その頃スナックに行くと、お笑い芸人のコロッケのお母さんがCDを持って売ってまわられたのを思い出します。

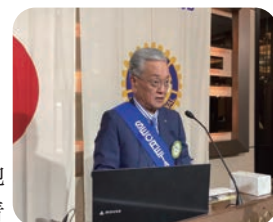
その頃の社長の話は、何でも決断する時は、損か得ではなく、必ず尊か悪で判断しろとよく言われました。そうしないと物事の本質が見えてこないと言われました。

また、帰りはいつも夜中の2時、3時で、昔、銀座通りのアンジェラスというパン屋さんがあり、そこでいつもパンを土産に持たされていました。帰りのタクシーの中では、清水の次郎長親分て知っとるか？と言われ、次郎長親分は大政、小政、いろんな人間を使っていたと話され、どぎゃんやつでも使いこなしてこそ力量ぞ、と言い聞かされたのを昨日の事のように思い出しました。



■幹事報告

(幹事 福井学)



■ 来isan案内

1) 三村彰吾 ガバナー、井上邦広 地区青少年奉仕部門長、上野公則 地区青少年奉仕副部門長、馬メ昌実 地区青少年交換委員長、若杉美雪 地区青少年交換副委員長、岡崎利昭 地区青少年交換副委員長より、青少年交換委員会プログラム 2025-26 年度青少年交換学生・募集案内について。

2)

三村彰吾 ガバナー、井上邦弘 青少年奉仕部門長、宇野功一 RA サポート委員会、宮田真二 地区 RA 代表、宮崎靖也 八代 RAC 会長、下田実和 第 40 回年次大会実行委員長より、地区ローターアクト第 40 回年次大会登録の案内。

開催日 2024 年 10 月 5 日 (土)・6 日 (日)

開催場所 八代市公民館、八代市がらっぱ広場、キャバレー白馬

3) 特定非営利活動法人 チャイルドファンドジャパンより、新しいチャイルドの紹介。

ジアントーレス 君 (5 歳) フィリピン 南部ミンダナオ 北サンボアンガ州

4) 熊本少年友の会より、会報の送付。

5) 社会福祉法人 慈愛園 児童養護施設 シオン園より、広報誌「れいんぼう」第 4 3 号の送付

■クラブより

1) 職業奉仕部門集合セミナー (10 / 5) 協力依頼の件。

2) 本日の例会終了後に、第 2 回定例理事会を開催いたします。RA サポート委員会、宮田真二 地区 RA 代表、緒方理彩 地区 RA 社会奉仕委員長より、地区ローターアクト新人研修会 & アクトの日活動の案内。

■今後の地区行事

	開催日	行事名	場所	会場	出席者
2024年	9月7日(土)・8日(日)	地区ローターアクト新人研修会&アクトの日活動	熊本県阿蘇市	阿蘇YMCAキャンブ/ファームサンクチュアリオープンセサミ	案内中
	9月14日(土)	4部門合同セミナー	熊本県熊本市	市民会館	案内中
	10月5日(土)	職業奉仕部門集合セミナー	熊本県熊本市	森都心プラザ	新着

■委員会報告 (彌富照皇 会員)

(彌富照皇 会員)

「ワールドカフェ」について説明



■委員会報告

(親睦・スマイル担当委員長 松田和成)

・8月21日(水)「今年最初の約束の日」ご案内 18:30～「瑞恵」にて

・9月1日(水)「日帰り親睦家族例会」最終案内

■出席報告

(出席・プログラム担当委員長 片岡 貞志)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
07月31日	41 (免3) 38	31 (Zoom:1)	3	34	89.47
08月07日	41 (免3) 38	27	-	-	71.05

☆出席免除

07月24日

島村徹男 志賀重人 永野昭一

08月07日

住江正治 島村徹男 永野昭一



★欠席者

07月24日

出先教明 川崎直樹 潮谷愛一 山本浩之

■スマイル

(親睦・スマイル担当副委員長 草村安宏)

◎宮川義行 3,000円

79年前の8月、1ヶ月で20万人が原爆で亡くなりました。原爆は日本もドイツも開発に取り組みましたが優秀な研究者は全てアメリカに渡りました。9歳で

長崎で被爆した青葉病院理事長だった三浦会員、グラマンのパイロットと目が合って逃げ回った志賀会員、戦車でマッカーサーを撃ち落とそうとした佐野会員。東南ロータリーの皆さんから歴史を学ばせてもらいました。機会があれば卓話をお願いしたいと思っています。よろしくお願ひします。



■卓話

テーマ：新年度方針

■職業奉仕担当

(古田哲朗 委員長)

- ・10/5(土)の職業奉仕部門集合セミナーのホストクラブとして活動する
 - ・1月の職場訪問実施
 - ・1月の出前セミナー
- できれば、会員の職業をお互いに知る機会を設ける予定



■社会奉仕担当

(宮川義行 委員長)

1. 活動方針

- ・慈愛園サマーキャンプ、泉ヶ丘校区伝承遊びの集いは中止となり、慈愛園テーブルマナー講座の開催を昨年に引き続き行うこととなりました。
- ・土いじり野菜やくだもの収穫体験を子供たちにしてもらい取り組みを考えています。
- ・児童福祉施設自転車購入支援を継続して行う。
- ・ポリオ根絶に向けた支援を引き続き行っていく。



2. 実施計画

- 1) 慈愛園テーブルマナー講座を8月20日、慈愛園の園児と先生、熊本東南ロータリークラブメンバーでホテルキャッスルにて開催する。
- 2) 児童福祉施設自転車購入支援
- 3) ポリオ根絶の行事への参加
- 4) グローバル補助金活用検討を他委員会と連携して行う
- 5) 子供たちとの体験学習を検討する
- 6) その他、社会奉仕活動にふさわしい取り組みを検討する

■青少年奉仕担当

(西田智史 委員長)

1. 活動方針

- 1) アクト例会へ出席し、アクトの活動内容を把握する。
- 2) アクト例会を活性化させるためにも、東南ロータリー会員のアクト例会への参加を促す。
- 3) 東南ロータリーが行う行事(家族会・クリスマス会等)にも、アクト会員を招待し、親睦を図る。
- 4) アクトが行おうとする事業について、出来る限りの協力を行う。



2. 実施計画

- 1) アクトの会員増強について、サポートし協力する。

2) 青少年奉仕月間にはアクトから卓話者を招いて卓話いただく。

3) 東南ロータリーが行う奉仕活動に、アクト会員を招いて、共同で取り組む。 4) アクトの活動内容を、東南ロータリー会員へ伝える。

5) アクトの活動に対して、一緒に協議し取り組む。

6) アクト主催の奉仕活動について、東南ロータリー会員へ参加を促す。

■国際奉仕担当

(小畑成司 委員長)



1. 活動方針

◎ロータリー財団部門、米山奨学部門とタイアップして、引き続きグローバル補助金、地区補助金を通じて国際交流をバックアップしていきたいと考えます。

◎ウクライナ支援を实践できた我がクラブは、ウクライナ侵攻終息後、ポーランド・ジェシエフロータリークラブ及びウクライナ・リヴィウロータリークラブ訪問を実現させたい。

◎地区内で国際交流希望クラブとのマッチングサポートを実施していきたい。

◎国際ロータリアンとしてグローバルな観点から物事をとらえられるように情報を提供していく。

2. 実施計画

◎熊本東南ロータリークラブを主として、グローバル補助金活用に挑戦し、第2回目のラオス視察を実施し、具体的に活動に移行していく。

◎引き続きフィリピン里親制度を支援していく。

◎2025年6月ロータリー国際大会(カナダ・カルガリー)に積極的に参加することを奨励していく。

■姉妹クラブ担当

(内田信行 委員長)



1. 活動方針

(1) 我がクラブ創立40周年も無事終了し、次々年度では和歌山東南ロータリークラブの60周年、台湾訪問、また、宇佐ロータリーの60周年と多くの行事予定がありますので、前年度より準備をする。

(2) 姉妹クラブとの友好を深めるために、板橋南区扶輪社、和歌山東南ロータリークラブ、宇佐ロータリークラブとの親睦を図る。

(3) 新たなグローバル補助金活動を、和歌山東南ロータリークラブなど含め、模索する。

(4) 交換留学生の応募については積極的に対応する。

2. 実施計画

(1) 各クラブの行事に、多くのメンバーで参加出来る様、前もって準備する。

(2) 姉妹クラブとの親睦を深めるために訪問する。

(3) 小畑会員に、グローバル補助金の対象となる地域、内容などを相談して模索する。

(4) 交換学生の募集がある場合は全会員に周知し決定する。

■長期戦略委員会担当

(内田信行 委員長)



1. 活動方針

長期戦略委員会、松本繁前々委員長、永野昭一前委員長の基本理念である「Joyful and Good」

を継承し会員一人一人が熊本東南ロータリークラブに入会して良かったと思ってもらえるクラブ造り、いつも生き生きとして楽しんでもらえるクラブ造り、時代に対応したクラブ造りへの指針を考え、全会員で共有し、会員が楽しめるより良いクラブづくりを目指します。

その為には、クラブの現状、課題を毎年見直し・再確認し、目指すクラブのありかたを全会員委員で考える事が出来るようにしたいと思います。

また、ロータリーを学ぶ機会を今以上増やすことで、ロータリーの魅力を感じることが出来るシステム造りをしたいと思います。中島会長年度では、板橋南区ロータリークラブと腎臓病防治宣導服務計画も出来、今後もグローバル補助金プロジェクトを活用し具体的な活動を目指します。

2. 実施計画

(1) 長期計画書(2024.7～2025.6)を作成

(2) クラブ内研修リーダーを選任し、視察研修など行う

(3) クラブ運営管理体制の強化

(4) クラブフォーラムなどで機会を作りクラブ造りに関するディスカッション開催

(5) グローバル補助金は新たな活動を目指す

(6) 奉仕プロジェクトと協力し、今までにない新たな奉仕活動の検討

■点鐘

(編集 松元 将潔)

■今「クラブでの体験」が注目されている理由

●「クラブは、すべての会員が自分の居場所だと感じる事ができたとき、魅力的な存在となります」(ステファニー・アーチック国際ロータリー会長、2024年8月のメッセージより)

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素は「クラブでの体験」であることがわかっています。「そ

んなの当たり前」と思われる方もいるかもしれませんが、クラブに満足できずに退会してしまう会員がいるのも事実です。

この「体験」というコンセプトは、ビジネスでも重視されており、「最高体験責任者（CXO）」という役職を置いて顧客体験（CX）と従業員体験（EX）の改善に力を注ぐ企業が増えています。「モノではなく体験を買う」ことを好む人が増え、優秀な人材を維持するには従業員の「体験」が大事だと企業が意識し始めているからです。国際ロータリーにも、最高参加者体験責任者（Chief Participant Experience Officer）がいます。

ただし、ロータリーでの会員の体験は常にクラブから始まります。

一言で「体験」といっても、関心やニーズは人によって違い、みんなが同じ体験を望んでいるとは限りません。このため、クラブ会員の声に耳を傾け、会員一人ひとりの関心や要望について知ることから始めましょう。これに基づいてクラブの活動の幅を広げたり、運営方法を変えたりできるかもしれません。クラブで会員満足度アンケートまたは会員関心事アンケートを行ってみるのも一案です。

会員の体験という点では、会員が奉仕活動に参加できる機会を増やすことも検討できるでしょう。クラブでの親睦が楽しいと感じている人も多い一方、奉仕活動に参加してはじめてクラブの目的意識や存在意義を感じることができたという人が多いこともわかっています。

また、会員の活躍や成長を後押しできるクラブとなることも、特に若い世代の会員にとっては大切です。地元のほかのクラブとの合同活動、地区、そしてロータリーの国際的なネットワークなど、会員が活躍できる舞台はクラブだけにとどまりません。

クラブとロータリーでどんな体験ができるのかを、『自分にあったロータリーの体験をデザインしよう』でご覧ください。多様な会員がいるロータリーは、そこで味わえる体験も実に多種多様です。これだけ多様な体験ができる団体はほかにないのではないのでしょうか。

ロータリーのラーニングセンターにある「元気なクラブづくりのために」のオンラインコースも参考にいただけます（コースを利用するには My ROTARY へのログインが必要です）。

最後に、簡単なクラブでの体験チェックリストをご紹介します（「クラブでの体験を形づくるものは何か」より抜粋）。皆さまのクラブはいくつチェックマークがつくのでしょうか？

□例会での楽しみ：会員が楽しみ、クラブの一員として参加・貢献できている、帰属意識をもっていると感じている。

□クラブリーダーへの信頼：クラブで意見を述べられる、クラブリーダーが自分に耳を傾けていると会員が感じている。リーダーがクラブのために最善の決断を下してくれると信頼している。

□個人的な成長の機会：自分のスキルを伸ばし、成長する機会がクラブとロータリーにあると会員が感じている。

□つながり：ロータリーを通じて貴重な人間関係を築けたと会員が感じている。

□有意義な奉仕：クラブの奉仕活動が世界と地域社会に変化をもたらしていると会員が感じている。

2024/08/09 ロータリーのブログより

■ワールドカフェとは？【やり方を図解解説】効果、事例

1. ワールドカフェとは（概要・意味・語源など）

・ワールドカフェ、と聞くと和やかで楽しげ、といった雰囲気が感じられるでしょう。ワールドカフェとは、お茶を飲んでくつろいでいるような雰囲気での会議をすることです。

ワールドカフェは1995年、アメリカで開発されました。くつろぎながら会議をする、というワールドカフェ。その言葉にはどういった意味が込められているのでしょうか。語源や意味などについて解説します。

・ワールドカフェの定義

ワールドカフェの定義は、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気のもと行われる会議のことです。

WORLD CAFE



参加者は4～5人ずつに分かれ、テーブルごとに対話をするといったもので、1,000人以上でも実施できます。一定時間が過ぎれば、テーブルのメンバーを入れ替え、対話することを繰り返します。

少人数で対話することで、相手の意見を聞きやすく、自分の意見も言いやすいのが特徴です。

・ワールドカフェの意義と効果

ワールドカフェにはどんな効果があるのでしょうか。

カフェでお茶をしているようなリラックスした雰囲気の中、テーマに沿った対話ができるため、さまざまなアイデアや意見を出しやすい

気持ちにゆとりを持って話し合いができる

相手の意見に自然と耳を傾けられる

自分の意見も尊重される

一体感を持った対話ができる

メンバーの組み合わせを変えながら4～5人単位の小グループで話し合いを続けることで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果を得られる